

■ 戸隠山山行報告

日時：2021年6月11日～13日

参加者：I、H、K、M（記録）

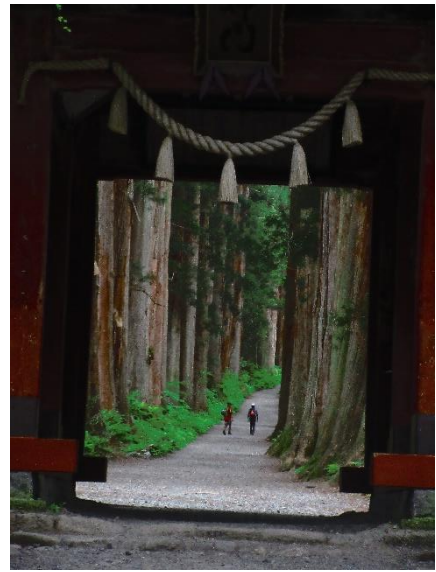
行程：6/11 20:00 針テラス

6/12 1:42 登山口駐車場 ⇒5:43 出発 ⇒6:40 随神門 ⇒7:10 奥社 ⇒8:08 百間長屋
⇒8:22 天狗の露地 ⇒8:48 蟻の塔渡・剣の刃渡 ⇒9:08～30 八方睨 ⇒9:45 戸隠山
⇒10:33～48 九頭竜山 ⇒11:40 一不動 ⇒13:20～14:00 キャンプ場（喫茶休憩）
⇒14:15 駐車場

梅雨の合間を狙って、土日で戸隠山と黒姫山を計画、天気予報に一喜一憂しながら予定通り金曜日の夜出発、戸隠登山口前の無料駐車場で仮眠し早朝に出発した。夜中ひっきりなしに車が到着し、朝には数十台になっていた。キャンプ場から戸隠山の裾野をめぐる奥社入口の随神門から大木の杉並木を奥社に向かう。



奥社への入口、随神門



随神門の奥に見える杉並木の人の対比

奥社に参拝して登山開始、いきなりの急登で汗だくになる。五十間長屋からは岸壁に絡んだ道で百間長屋を過ぎると鎖場の連続、少し雨にあうもすぐにやむ。蟻の塔渡から剣の刃渡と最難関の岩稜が続く、蟻の塔渡は巻き道ありながら鎖を頼りの岩場のトラバース、剣の刃渡りは巻き道なし。両方とも緊張の連続だったが一番の難所を無事通過、ほどなく八方睨みで一息、天気も良く北アルプスや隣の西岳・高妻山から飯縄山、四阿山方面も一望、見下ろせば後続の登山者が難所を通過中、その向こう眼下に一面の戸隠高原の緑が広がる。



百間長屋



天狗の露地から続く鎖場



見下ろした蟻の塔渡りと剣の刃渡り



八方睨から見た西岳

ここからも右側が切れ落ちた気の抜けない縦走路を、青空のもと眺望に花々に癒されながらアップダウンの道を進む。戸隠山・九頭竜山を過ぎて一不動の避難小屋着、あとは沢沿いに下るだけ、途中の氷清水の水場で給水後、一部鎖場はあるものの無事戸隠牧場にたどり着き、牧場内のカフェで休憩後、キャンプ場に到着。テント設営後は戸隠神告げ温泉で入浴、キャンプ場に戻りのんびり夕方を迎えた。



戸隠山 左から I、M、K、H



上：高妻山 下：沢沿い下りのクサリ場